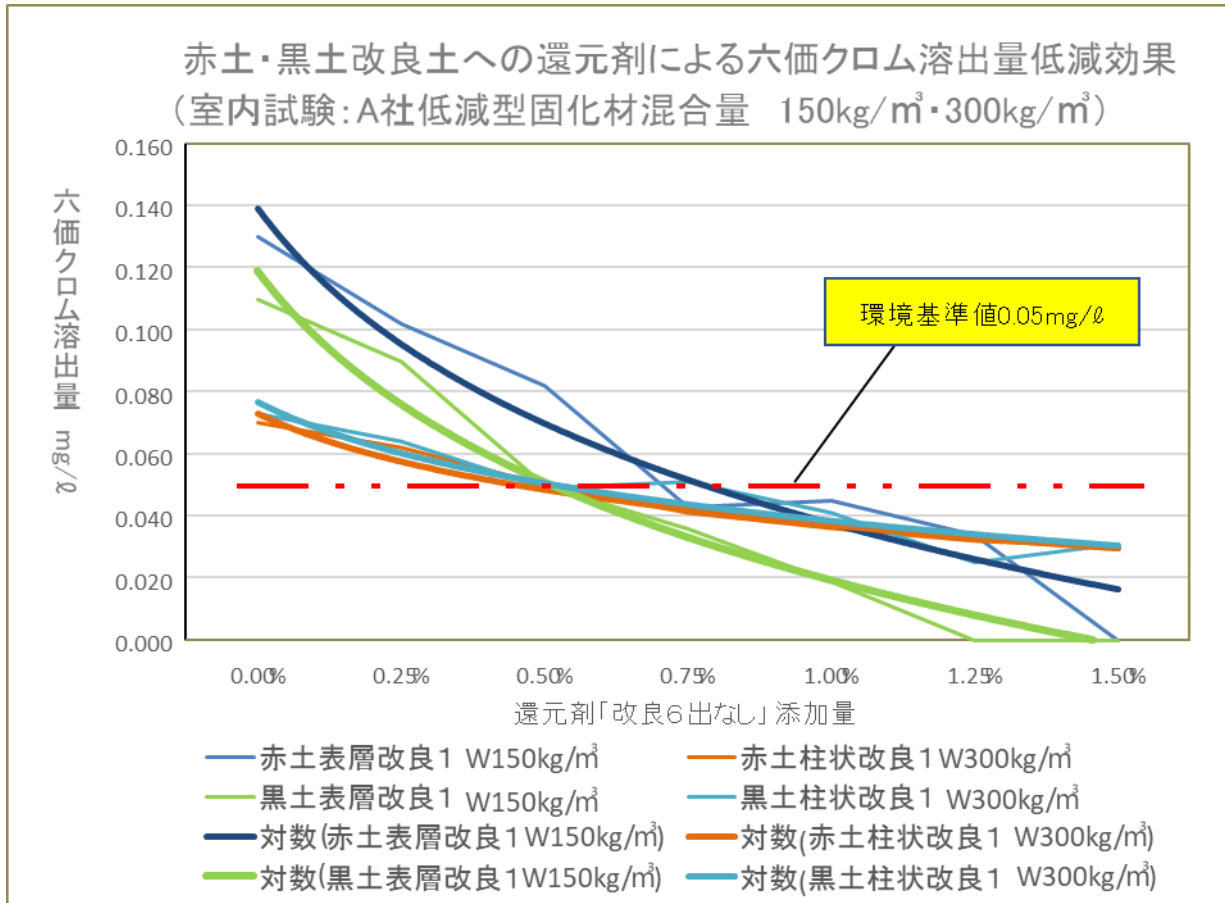


【六価クロム還元浄化剤の効果確認試験】

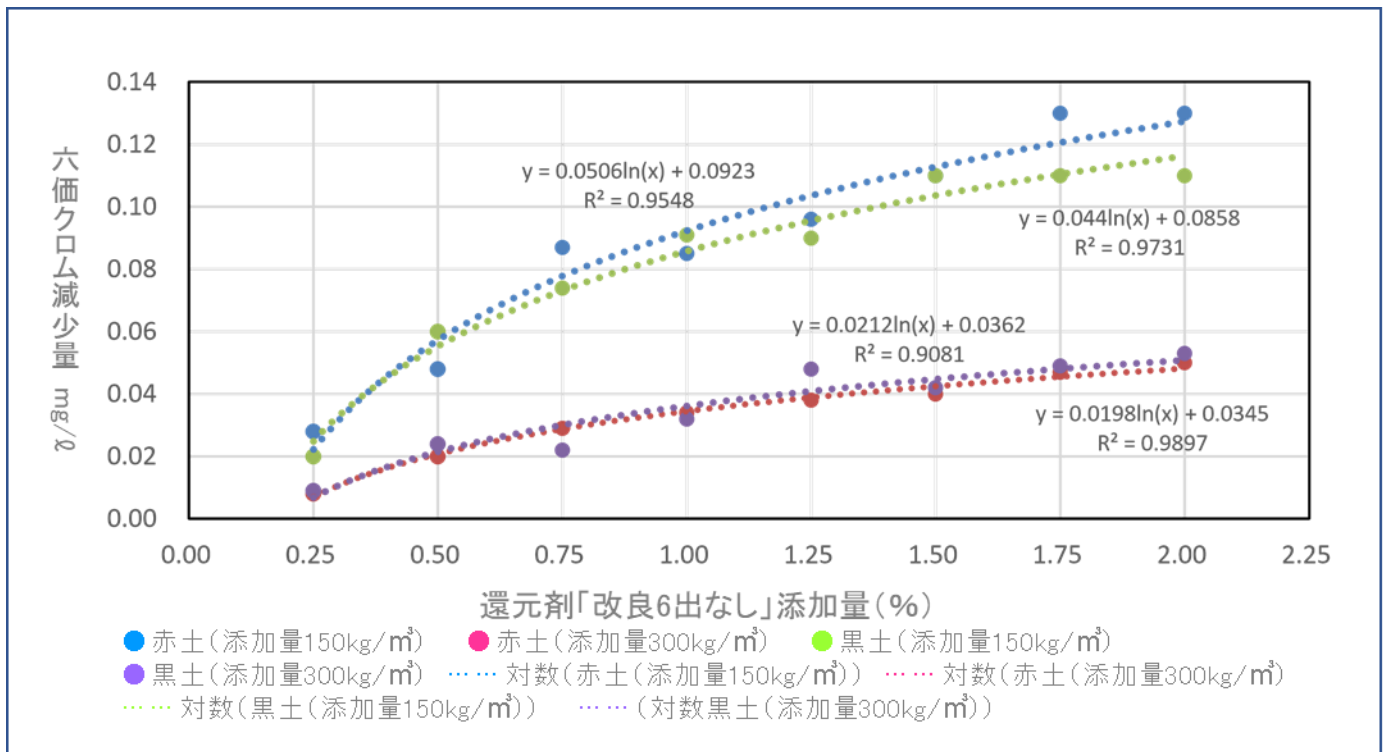
グラフ-1: 赤土・黒土改良土への還元剤による六価クロム溶出量低減効果(対数近似値により表示)

※表層改良と柱状改良とで、還元剤の添加による効果特性が少し異なっている。

※六価クロムの初期値により添加量は異なるが、0.5~1.0%以下で環境基準の0.05mg/lを満足している。



グラフ-2: グラフ1と同一資料による「六価クロム溶出減少量」と「改良6出なし添加量」との関係



「六価クロム溶出減少量」と「改良6出なし添加量」との関係

「R2」は決定係数とよばれる相関性の強さを表す指標の1つで、全てが 0.9 以上の高い数値を示している。
 対数近似値(赤土(添加量 150kg/m³):R2=0.9548 対数近似値(黒土(添加量 150kg/m³):R2=0.9731
 対数近似値(赤土(添加量 300kg/m³):R2=0.9085 対数近似値(黒土(添加量 300kg/m³):R2=0.9897

1

グラフ-3: 改良土への還元浄化剤による六価クロム溶出量の低減実例(調査日等 H25.02.01~H26.02.19)
 ※還元浄化剤の添加量 0.5~1.0%で環境基準値の 0.05mg/ℓ以下を確保していることが分かる

